

このスポット・おすすめ!

毎日食べられる良質なパンを手頃な価格で

パン屋 日常



毎日50種類が店頭
2月は甘いパンが充実

生地を使う砂糖はきび糖、卵は読谷EM農園はなファームの地産卵、油脂は九州産牛乳100%の高干糖バターを基本にするなど、素材にこだわったパンづくりが特長。オーナーの屋宜宣克さんは、沖縄市にあるお店「Lawson(ラズー)」の出身で、「将来は生まれ育った読谷村でお店を開きたい」との夢を2年前に実現しました。現在は奥さまのあかりさんも戦力に加わり、スタッフとも力を合わせてアットホームなお店を営んでいます。

店名通りに「毎日食べられる良質なパンを手頃な価格で」が屋宜さんのモットー。惣菜パン、菓子パン、食パン、焼き菓子からハード系まで、毎日約50種類が店頭並びます。アーモンドクリームをたっぷり使った「クロワッサンダマンド」、オーバーナイト製法と3時間製法の2つの味を用意した「バゲット」など、人の心をつかんで離さないバラエティーに富んだラインアップ。「午前中いっぱい焼上げるので、お昼近くの時間帯が最も品ぞろえが充実しています。」とのこと。

季節ごとに新作のパンも登場し、2月はバレンタインデーに合わせて、ココア生地のベージュなど甘いパンを販売予定。その後もホワイトデーや卒業・入学といったイベントにちなんだパンが、皆さんへのお披露目のときを待っています。

住所 / 読谷村都屋 261-2
電話 / 098-956-5908
時間 / 10:00~19:00
(売り切れ次第閉店)
休み / 日曜日、第1月曜日不定休
駐車 / 4台(店舗前他、店舗下に広いスペースがあります)
(おもなメニュー)
・チョコチップスコーン.....100円
・メロンパン.....110円
・バゲット.....250円
・紅豚使用ヒレカツサンド.....400円
※価格は税別
※指定したパンのセット・詰め合わせなど予算に合わせたオーダーも可



読者 答えて

プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『パン屋 日常』で使える



1月号当選者 前号の答え(入口から出口)

- ★大田 守昭さん(宜野湾市在住)
- ★仲宗根 美佐代さん(読谷村在住)
- ★野村 弘子さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ウィンズ『広報誌係』

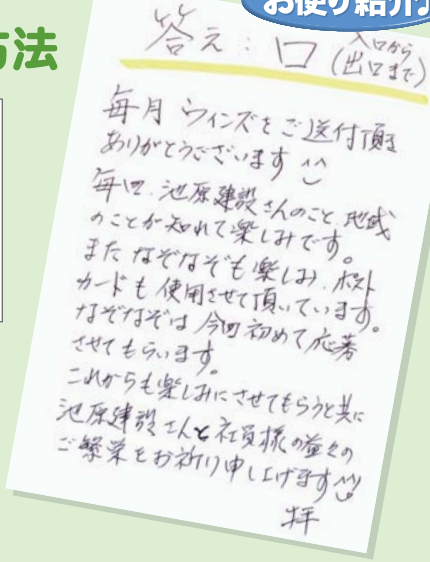
①住所 ②氏名
③年齢 ④職業
⑤電話番号

裏 ⑦ご意見 ⑧ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2019年2月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.174)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



今月の歳時記

- 2月2日(土)・3日(日) まなびフェスタ読谷2019
会場・開催地/読谷村文化センター
- 2月17日(日) 2019おきなわマラソン
会場・開催地/沖縄市・沖縄県総合運動公園[スタート・フィニッシュ]
- 2月20日(水)~24日(日) なはさくらまつり 2019
会場・開催地/那覇市・与儀公園
- 2月23日(土)・24日(日) 第26回 読谷やちむん市
会場・開催地/読谷ファーマーズマーケット「ゆんた市場」前広場

暖かい日が続く今シーズンの冬。2月1日から県内各地で、毎年恒例のプロ野球春季キャンプがスタートしますが、選手たちにとってはケガなくトレーニングしやすい絶好の陽気かもしれませんね。読谷村の平和の森球場では2月いっぱい、中日ドラゴンズ2軍チームがキャンプを行います。



↑那覇市 嘉手納町 名嘉病院 比新川 エネオス ウィンズ 読谷高校 ファミリーマート おきなわ 道の駅 読谷 名護市

(株)池原建設 企画事業部ウインズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00~18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索



Smile Vision!

2019年池原建設、社員で手作りの New Dream night (新年会) ゲストを交えて大いに語り合い、充実した宴に

私たち池原建設は1月12日、弊社建設事業部「PLAZA CREAM」で2019年 New Dream night を開催しました。各方面で弊社の活動をサポートいただいている方々をゲストにお招きして、昨年1年間の感謝を示すとともに、次期中期計画の新たなスローガンを発表して、今年1年間の針路を会場の全員で確認しました。イタリアンのフルコースや特製のワイン、ピアノ&ギターの生演奏などが会を彩り、抽選会も行われ、充実した3時間でした。



New Dream night 2019

■ 企画・準備から進行まで、社員が自発的に取り組む

池原建設では年に4回、全社員が主体となって取り組む社内イベントを開催しています。その先陣を切る New Dream night は、社内的には年の初めに社員同士の連携と経営理念を再確認し、対外的には感謝の気持ちを込めてゲストをおもてなしするような、一年の計となる大事なイベントです。準備段階から当日の会の進行、そして最後のお見送りと片付けまで、社員自ら中心となって段取りを組み手作りで運営しています。

例年と比べて今年の会が大きく変わった点は、すべて

社員の自発性に委ねられたこと。昨年までは社長をはじめ役員も一緒になって企画を練っていましたが、今年はサポート役に徹底。どうすれば滞りなく会を運べるか、どうすればゲストの皆さんに楽しんでもらえるかを自分たちで考え、計画・実行に移していきました。

社員同士で事前に何度も打ち合わせを重ね、役割分担と連携体制が整ったことで、当日はすべてのプログラムがスムーズに進行。今回の経験を経て、社員一人一人も手ごたえを実感しました。



■ おもてなしの心を実践し、日々の業務に生かす

ゲストをお招きする今回の New Dream night のようなイベントは、私たちが普段心がけているホスピタリティーマインドを実践する絶好の機会。仕事の心得として日頃唱えていることが、あるいは社内では首尾よくできていることが、果たして社外の方を相手にきちんと対応できるかどうか「答え合わせする場所」と捉えています。今回の会については後日改めて振り返り、評価すべき点、改善すべき点を分析して社員全員で共有し、次回以降の行事をはじめ、日々の業務の中にも

反映していきたいと考えています。

2019年は池原建設にとって、中期事業計画のスローガンが「サンライズ」から「ミラクル」に切り替わる変革と飛躍の年。最初のイベントである New Dream night が無事に終了し、予想以上にいい形でスタートを切れたことは、会社としても最高の収穫でした。社員による自発的な活動が、池原建設の明るい未来をきつと切り開いてくれることでしょう。